



令和6年度 福島県小学生バレーボール連盟 運営基本方針

基本理念「すべては子どもの笑顔のために！」

コロナやインフルエンザ等の感染症に対する基本的な対策を継続しつつ、各種大会や日常の練習など、規制のない状況下での活動がようやく出来るようになりました。

2024年は、メダル獲得の期待も高まるパリ五輪の開催や、ハイキューの影響等もあり、小学生バレーボールが微少なながら増える傾向にあります。

その一方で、全国では、指導者等による暴言や不適切な指導によるコンプライアンス事案が後を絶たない状況が続いています。

このことを踏まえ、福島県小学生バレーボール連盟は、安全・安心な大会運営はもとより、基本理念である「すべては子どもの笑顔のために」を念頭に、多くの子供たちがバレーボールに興味を持ち、バレーボールを通してスポーツの楽しさを体感させ、生活を豊かにするとともに、多くの友だちの輪を広げ、健全な成長を促し人間性豊かな選手の育成と、ハラスメント撲滅を目指します。

実践・重点事項

1 福島県小学生バレーボール連盟の組織を、時代のニーズに合わせて強化する。

- (1) 日本小学生バレーボール連盟・福島県バレーボール協会との連携を図る。
 - 県内バレーボールひとり一人を支えるため、組織を強化する。
 - 透明性のある運営と、迅速かつ的確な対応で、信頼ある組織を構築する。

2 健康・安全に留意し、共にプレーができる楽しさを体感させる。

- (1) 練習時・大会開催時の健康・安全管理体制づくりと安全な競技運営をする。
 - 活動時における事故防止対策や各種感染症に対する基本的な対策、熱中症対策等、常に安全な環境づくりに留意し、共にプレーができる楽しさを体感させる。

3 暴力・暴言・ハラスメント撲滅のための取り組みを強化する。

- (1) 暴力・暴言・ハラスメントの絶無を目指す指導法改善と指導者の意識変革を図る。
 - 指導者並びに保護者のコンプライアンスに関する意識の向上
 - 暴力・暴言・ハラスメントを見逃さない保護者や他チームからのチェック体制の強化
- (2) バレーボールの楽しさを真に体感させ、信頼・尊敬される指導者を育成する。
 - 的確なアドバイスと、常に子ども達から学ぶ姿勢を持ち続ける指導者育成
 - 時代に即した指導理念と指導方法の実践

- ・全国小学生バレーボール指導者一次講習会の実施
- (3) 次世代を担う役員、指導者、審判員の育成と人材を発掘する。
 - 若手指導者並びに役員・審判員の発掘と積極的な登用

4 バレーボール仲間を増やすためのチーム運営とイメージアップを図る。

- (1) 日常活動における、よいチームづくりのバレーボール環境整備をする。
 - 保護者と指導者間で、指導方針の共通理解を図る良好なチームづくり
 - 子どもたちに感謝づくり・仲間づくり・楽しさづくりを目指すチームづくり
- (2) バレーボールを取り巻くマイナスイメージを払拭するため、子ども並びに保護者や役員が加重負担にならないような競技会やチーム運営をする。
 - 指導者と保護者間で子供中心においた共通認識と運営
 - ・チーム運営について、子どもと保護者の視点から見直し
 - 運営費や遠征費に係る出費をできる限り軽減
- (3) 低学年からバレーボールに親しみ、楽しみを味わわせる施策を実施する。
 - 低学年（U-8、U-10）キッズ交流バレーボール大会の実施
 - バレーボールの特性にとらわれない楽しいルールでの実践

○指導者「GOOD COACH」の心得

PATROL「巡回する、見てまわる」

Process：「結果ではなく、経過を重視しましょう」

Acknowledgment：「承認しましょう」

Together：「一緒に楽しみ、一緒に考えましょう」

Respect：「尊敬しましょう、尊重しましょう」

Observation：「よく観察しましょう」

Listening：「話をよく聴きましょう」

